

塾長杯ソフトボール大会 全塾本選 大会要領

- 大会に関する連絡事項は、申込フォームに入力された携帯電話とパソコンのメールアドレスへのメール送信、および塾生 HP (<http://www.gakuji.keio.ac.jp/life/event/index.html>) への掲載により行われる。日程変更等重要な連絡を行うので、よく確認すること。
- 当日人数不足で棄権することがないように、参加者の予定を確認した上で申し込むこと。

<開催情報>

日時 : 2020年11月28(土)、29日(日) ※雨天時の予備日12月5日(土)、6日(日)
場所 : 日吉キャンパス陸上競技場 (あるいは体育会野球部下田グラウンド)
※10時~16時半までに試合を組み、1チームにつき1日1、2試合行う(最大3時間程度)

参加資格 : 学部・大学院生 (研究会の先生も参加可)

試合概要 : **試合は7イニング**とする。ただし、1時間10分を経過した場合は新しいイニングに入らない。

- ・雨天等中断による延長は無い。時間内であれば9回まで延長戦を行なう。
- ・勝敗が決しない場合は出場選手9名によるジャンケンで決定する。

募集要項

- ・募集は先着12チームとする(例年の予選通り)。開催1週間前までに4チームが集まらない場合は中止とする(4チームでの開催となった場合は、同チームと2試合行い、合計点での勝敗決定を行う)。ただし、例年のように各学部ゼミナール委員会や任意団体から特定チーム数を選出するのではなく、純粹に先着順でチームを決定する。
- ・例年とは異なり、9人の頭数を揃えられなくても、個人で参加エントリーができるよう、12チームのうち2~3チーム分(18人~27人)の枠については、日吉学生部がチームを編成する。これにより1年生の参加を促したい。
- ・最大12チーム13試合でのトーナメント戦(ノックアウト方式)、7イニングとする。チームが少ない場合は敗者復活戦も導入する。例年通り、上位4チームには賞品あり。優勝チームは野球部との親善試合を行う可能性あり(調整中)。
- ・審判学生も例年通り募集する。審判や設営は、参加チームや野球部員にも協力を要請する。

注意事項 : ●選手は他チームと重複して出場することはできない。

※ただし、個人参加で申し込みした学生は除く。

- エントリーフォームに記入された選手のみ出場可能(選手追加も可能)。この場合、追加した選手の学籍情報を gakusei-c.hiyoshilife@adst.keio.ac.jp へ送信すること。
- グローブ・キャッチャーマスクは大学から借用可能だが、数が十分ではない為、可能な限り各自で用意すること。
- 車両の入構は不可。
- 会場内は食事禁止。水分補給は、芝生以外の場所で行うこと。
- 会場へは運動靴のみ入場可能。ヒール、サンダルなどは不可。
- 先攻後攻は、試合開始5分前に、チーム代表者同士のジャンケンで決定する。
- 試合を円滑に進めるため、試合開始30分前には集合すること。
試合開始予定時刻において9名揃っていない場合は失格となる。
- 参加者は対戦相手に配慮し、野次等を飛ばさずスポーツマンシップに則りプレーすること。
- 協生館の更衣室が利用可能(詳細は上記塾生HPで告知する)

☆カラーコーン外へ打球がノーバウンドで出た場合は本塁打、打球に野手が触らず、バウンドで出た場合は三塁打、野手が触ってバウンドした場合は二塁打とする。反対側コートの守備と鉢合わせになり、ボールが追えない場合は二塁打とする。ランニングホームランも認める。

☆外野から内野へ返球し、内野手が捕球した時点で、進塁中の次塁まで進塁できる。ただし、次塁への進塁を保証しておらず、進塁を阻止する刺殺、挟殺等のプレーは禁止していない。

☆投球前のリード、投手の暴投、捕手の後逸、盗塁(ディレードスチール等の変則盗塁も含む)は禁止する。ただし、投球後のリードによる離塁走者への牽制球は禁止せず、牽制球が悪送球の場合、次塁まで進塁しても良い。

☆陸上競技場で開催される場合は、芝生の内側をインプレーゾーン、外側をボールデッドゾーンとする。ボールデッドゾーンに出たら、原則 1 つの進塁権を与える。ただし、状況により審判の判断に従うこと。

☆危険防止の為、各塁においてコリジョンルールを厳格に適用する。

☆下田グラウンドで開催される場合、攻守時間問わず、投手のみポイントスパイク(≠金具)の着用を従来同様認める。

☆全イニング出場の場合に女子選手及び研究会の先生 1 人につき、ハンディとして 1 点を加える(最大 3 点まで)。

☆イニング間の投球練習は初回のみ 5 球で、後は 3 球。

☆女子が投手の場合は、プレートの 91cm 前から投げる。

☆指名打者制は採用しない。

☆シートノックは 20 分前に集合し、両チーム 7 分間ずつ。

☆バットは大学が用意したもののみ使用可とする。但し、相手チームが認めた場合を除く。

☆危険防止のため、野球用やサッカー用などのスパイク(金具・ポイント式ともに)は使用禁止。

☆打者は必ずヘルメットを着用すること。捕手は必ずマスクを着用すること。

☆盗塁、投手の暴投又は捕手後逸による進塁、リードは不可とする。

☆エラー等によりボールが会場外へ大きく逸れた場合、原則的に各走者の進塁は 1 つまでとする。ただし、状況によっては主審の判断に従うこと。

☆会場の周囲は陸上競技トラックで練習が行われている場合がある。危険防止のため、トラックまで無理に打球を追いかけないこと。

☆ファウルボールは攻撃側チームが拾いに行くこと。

☆出塁中も必ずヘルメットを着用すること。

☆熱中症などの予防のため、こまめに水分を補給し休憩すること。

☆ゴミは必ず各自で持ち帰ること。

※雨天時等の問い合わせ：大会事務局(日吉学生部学生生活担当) 045-566-1025(平日 8:30~17:00)

感染対策について

・基本的な感染対策は以下の通り（全日程、日吉学生部学生生活担当 2 名が出勤し、監督する）

- ① 参加チーム個々への入退場時刻を指定する（一度に 4 チーム以上（15 人 x4 チーム=60 人）が集まらないよう）→1 チームの参加人数は 15 名を上限目安とする。
- ② 各チームに、参加者名簿の提出を義務付ける。
- ③ 参加学生に対し事前に以下の確認を行い、あてはまる場合には当日参加を認めない旨を伝える。
 - ・参加日の朝、37.5 度以上の発熱あるいは風邪の症状がある。
 - ・発熱がない場合でも、息苦しさ、だるさなどの強い症状がある。
 - ・基礎疾患がある人で、発熱やせきなどの比較的軽い風邪症状がある。
 - ・参加日の 2 週間以内に発熱やせきなどの風邪症状がある。
 - ・親族や知人など身近に陽性者や感染が疑われる人がいる。
 - ・2 週間以内に海外から帰国・入国した場合や、出入国者との濃厚接触がある場合。
- ④ バット、グローブ、ヘルメット等は、極力各自で持参してもらおう。個人備品の貸し借りはしないよう伝える。備品はこまめにアルコール消毒する（消毒剤を複数箇所に置く）。日吉学生部所有の共用備品（ボール他）については特に消毒を徹底する。
- ⑤ プレー以外は、マスクの着用を求める。
- ⑥ 学生相互に 2m 程度の身体的距離を確保するよう呼びかける（プレー中、プレー後とも）。守られていない時は、日吉学生部学生生活担当職員が注意・指導を行う。
- ⑦ トイレ利用が渋滞しないよう、陸上競技場周辺に複数箇所あるトイレへの誘導を適切に行う。
- ⑧ 協生館地下の更衣室は使用不可とし、各自着替えてくるようにする。
- ⑨ 参加前後の会食は不可とする誓約をとる。
- ⑩ 水分補給の際、ペットボトルの飲み口の衛生管理をしっかりと行うよう呼びかける（提供する飲料の箱出しをする際は、ペットボトルの飲み口を手で持ち並べないよう伝える）。
- ⑪ 関係者中に感染者が出た場合には、日吉学生部学生生活担当は、学生総合センター長、三田学生部、日吉保健管理センター、日吉運営サービス、体育研究所へ速やかに状況を報告し、関係する学生に速やかに連絡をとり必要な対応を行う。

（なお、行事实施にあたっては日吉保健管理センターに、救急備品の使用および診療（土曜日のみ）等の協力依頼をしている。）

以上